

飯館村までいな復興計画：東大GCL/WIS(B) + 農学国際専攻/農学国際特論 I

東京大学大学院農学生命科学研究科 林直樹・溝口勝（指導担当教員）

参加学生：糸永順子・鈴木心也・今井貴子・倉本潤季・平林凌太郎・武藤静・横川華枝・渡辺凜・岡野泰士

01 復興支援・学生ワークショップについて

▼飯館村の長期的な復興ビジョン構築を支援するため、学生ワークショップを実施した。参加した学生には、謙虚な気持ちで被災地の情報を集めることの大切さも学んでもらった。

▼限られた時間で実施されたため、不十分なところばかりであろうが、復興の一助となれば幸いである。また、可能であれば、単発な取り組みにとどめず、継続的なものにと考えている。

02 学生ワークショップの軌跡

日付	内容
2013年10月25日	講義①「農業とソーシャルICT」(山中博樹特任研究員)
2013年10月25日	講義②「までいな復興計画」(林直樹特任助教授)
2013年11月1日	第1回ミーティング
2013年11月15日	第2回ミーティング
2013年11月22日	講義③「飯館村の被災と除染」(溝口勝教授) / 第3回ミーティング
2013年11月29日～30日	飯館村訪問
2013年12月6日	講義④「グローバル制御について」(廣島次徳教授)
2013年12月13日	第4回ミーティング
2013年12月20日	第5回ミーティング
2014年1月6日	第6回ミーティング
2014年1月7日	第7回ミーティング
2014年1月8日	第8回ミーティング
2014年1月30日	発表：農学国際特論 I
2014年2月26日	発表：飯館村

3Dプリンターを使った飯館村立体地図の製作 (村井増彦特任助教授、別所正博特任講師)

03 軌跡：講義③「飯館村の被災と除染」



溝口勝教授 (2013/11/22)

04 軌跡：第3回ミーティング



学生主体で現地調査の方針を考えた (2013/11/22)。

05 軌跡：飯館村訪問①



除染実験の見学 (2013/11/29)

06 軌跡：飯館村訪問②



地元住民との話し合い (2013/11/29)

07 軌跡：飯館村訪問③



地元住民との話し合い (2013/11/30)

08 軌跡：第4回ミーティング



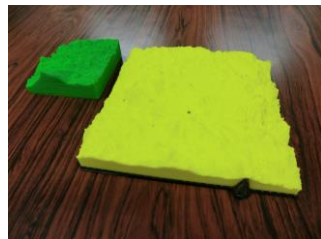
現地で得た情報を戦略的に整理した (2013/12/13)。

09 軌跡：飯館村で発表



改善にむけ、貴重な意見をいただいた (2014/2/26)。

10 軌跡：飯館村立体地図の製作



3Dプリンターで飯館村の立体地図を製作した。

11 ワークショップの直接的な成果

▼報告書「飯館村までいな復興計画」(A4用紙・50ページ)を執筆した。メンバーは、主として産業に注目しながら、「個々の村民の自由な選択」と「人と地域のつながり」を両立させるための試案を提示した。

▼メンバーは、第1次産業を選択した人のために、北海道に新飯館村を設立することを提案した。それについて、飯館村と新飯館村で地域社会が分断されないように、ソーシャルICTを活用することを提案した。

12 ワークショップによる参加者自身の変化

▼簡単なゴールなどないということが分かったことが最大の学習です(糸永順子)。

▼村を訪れる前「何十年後、飯館村の人々が村に帰り、穏やかに暮らしていくためにはどうしたらいいか」ということを私は考えていた。しかし、この考え方は人生も終盤にさしかかった高齢者の方々の気持ちを無視するものであったと気づいた(今井美里)。

▼(...)私が新聞記事などから思い描いていた現在の復興の様子とはかけ離れていて、そこで初めて復興は進んでいないという現実を理解しました(平林凌太郎)。

13 謝辞・資料

▼菅野宗夫さん、菅野千恵子さん、菅野永徳さん、佐々木敏雄さん、佐藤公一さん、大内香代子さん、酒井政秋さん、佐藤聡太さん、佐藤万姫さん、「ふくしま再生の会」の田尾陽一さんから多大なるご協力を得た。記して厚くお礼申し上げます次第である。

▼(資料)今井美里・今福貴子・倉本潤季・鈴木心也・平林凌太郎・武藤静・糸永順子(2014)：『飯館村までいな復興計画(農学国際特論 I / 東大GCL・GDWS(B))』。